

令和7年度 第5回中津川市総合計画審議会 議事要旨

I 開催日時

令和7年（2025年）8月26日（火） 14:00～15:30

II 開催場所

中津川市役所 会議棟2階 大会議室

III 委員 21名 欠席3名

IV 次第

1 開 会

2 報告

第3回及び第4回中津川市総合計画審議会における意見への対応方針について
【資料1】

3 議事

（1）中津川市総合計画基本構想素案について 【資料2】

（2）中津川市総合計画基本計画素案について 【資料3】

4 その他

5 閉会

V 議事要旨

<開会>

- ・令和7年度第5回中津川市総合計画審議会を開会

<資料確認>

- ・事務局より資料確認

<会長、あいさつ>

- ・会長よりあいさつ

<報告>

- ・第3回および第4回中津川市総合計画審議会における意見への対応方針について、事務局から説明

<議事>

協議事項 （1）中津川市総合計画基本構想素案について
（事務局から説明）

（質疑）

委員

- ・将来都市像を変えたことで大きく変わったと思う。ただし、「ほどよいまち中津川」は消しきれないという思いが伝わってくる。委員は「ワンダフルウッズ」に関して、内容を知っているので、いいのではとなるが、これを初めて見る方は「ワンダフルウッズ」が「ほどよいまち中津川」を表すという意味合いになってくる。
- ・副題としてというのは、題が二つあるという考え方なのか、「ワンダフルウッズ」が伝わりにくいと想着て、伝わりやすい説明として「ほどよいまち中津川」を持ってきたのか。
- ・単純にウッズと言われると木で森ではない。ただ、それはそういう意味ではないということも含めて、いろんな説明がされているが、であるならば、ワクワクする森と計画に書い

であるので、これを使えばいいのではないかと単純に思う。それをあえてまた「ほどよいまち中津川」を持ってくるのが気になる。

・「ほどよいまち中津川」を考えたのは市の職員で、審議会委員に確認を取らずに市民に投票を呼びかけたという流れなので、この会議体から「ほどよいまち」を外してもらいたい。市民と市役所が決めた事なので、委員は無視された状態である。その中で、この提案書はこの会議体が出したということになるので、そこの進め方に違和感がある。ただ過去の話なので、それはどうしようもないのかもしれないが、せっかく「ワンダフルウッズ」というように、将来都市像をひっくり返してでも変えてきたという思いがあり、「ワンダフルウッズ」の説明文としての副題が書けるのであれば、もっとわかりやすいワクワクする森中津川でもいいし、そういった文言の方がもっと浸透してもらえると思う。

事務局

- ・まずは「ワンダフルウッズ」を説明するためとして副題を置いてはどうかという提案をいただいた。副題に「ほどよいまち」をおいた理由の一つとしては、「ワンダフルウッズ」というテーマを目的として各種人口増につなげていくためである。「ワンダフルウッズ」だけでは、そういったところが伝わりにくいと考えている。「ワンダフルウッズ」が目指す先、例えば働く、暮らす、遊ぶといった各種人口の増につながるという、それを「～するほど、よいまち」という方が、「ワンダフルウッズ」に対してワクワクする森というサブタイトルよりも、より目的地の部分が明確になるのかなと考えていて、こういった形で案としている。
- ・ウッズについては、木という意味だが、複数形になることで森という意味にもなるということである。
- ・過去の市民投票の際に、たしかに市の職員が考えた案で募集して、市民投票という形をとらせていただいた。その際に審議会を無視したという事ではなく、委員の皆様にはこういう形で市民投票をすると連絡もした上で実施したという経緯があるので、その点も含めてご理解いただきたいと思う。
- ・こちらの案でパブリックコメントを実施し、市民の皆様へ意見をいただく段階に入りたいと思う。その上で、また意見を踏まえて検討させていただきたい。

委員

- ・「ほどよいまち中津川」、本当にほどよいだけでは伝わらない。だからいろんなものを付けようと前回でも書いてある。そして、今度は「ワンダフルウッズ」これもわからない。委員は知っているから分かるが、そうなると分からない名目が2つ並ぶだけに取れてしまう。会議に出ていないと全く分からず、なんのことかという話になる可能性が高いので、「ワンダフルウッズ」で腹を決めたのであれば、「ワンダフルウッズ」を推す形で、もっとわかりやすい日本語を掲載した方が、まだ市民の方に伝わりやすいのではないかな。
- ・「ほどよいまち中津川」だと、また説明しないといけないので、さらにわかりにくくなるのではないかな。2つともわかりにくいと思う可能性がある中で、せっかく「ワンダフルウッズ」でこのままいけるのであれば、「ワンダフルウッズ」を説明した副題の方が、市民の方々に理解してもらえるのではないかな。

事務局

- ・一点追加で、「ワンダフルウッズ」については、コンセプトブックの作成を並行して進めていて、完成した時には市民の皆様にも共有させていただく。そちらにコンセプトブックがあるという文言はないが、「ワンダフルウッズ」の考え方については、そういったところで示しながら皆様に考え方を含めて知っていただくというふうに考えている。

委員

- ・「ワンダフルウッズ」のウッズは元々英語では木材である。ウッズは木、木材。「ワンダフルウッズ」のリードは森の中津川などの素直な表現にして「ワンダフルウッズ」を広めた方がよいのではないかな。一発で「ワンダフルウッズ」だけを提案すると、少し理解しづらいのかなというように思う。

事務局

・木材という意味も中津川市では大事なところにもなるし、森という意味もニュアンスが違うかもしれないが、そういった意味も調べた上ではあったので、それも含めていろんな意味に取れるというところが、このウッズという部分では重要だと思っている。そこはキャッチフレーズというところもあるので、そういったところも少し関わるという部分で意見いただければと思う。

委員

・「ワンダフルウッズ」と副題の2つが引っ張り合ってしまうと、よくわからなくなるというのが正直な感想である。せっかく「ワンダフルウッズ」を持ってきているのに、「ほどよい」がよくわからなくて、良さを消し合っていると感じた。やはり、基本的に人は物事を1つずつしか処理できないので、これは処理しきれないのではないかな。
・前々から話しているが、雰囲気、空気をどう作っていくのがすごく大事だと思っていて、この打ち出しが、エッジが効いているかどうか、空気を作る上ではとても大事な部分だと思っている。やはり、ここはもう少し大事にというか、ぼやっとさせずに、一本筋を通したいというのが正直な感想である。
・さっき委員が話していた森みたいなのは単純に副題で、「ワンダフルウッズ ワクワクする森 中津川」にすれば伝わるので、それではダメなのかと思った。細かいところでは、この「くらすほどよい」などが下にあってもいいのかなとは思いますが、やはり最初に出るところでは、2つ持ってきてほしくない。

事務局

・こちらは意見として伺い、先ほどのパブリックコメントとしては、そういう意見がある中で出した上で、市民からの意見も踏まえて、検討させていただきたいと思う。

委員

・欲張りすぎているのは確かなのかもしれないが、最初からこの「ワンダフルウッズ」、もしくは「ほどよいまち中津川」というキャッチフレーズを出してきたのは、今までの行政にはない非常に良いところなので、そこをもう少しわかりやすく表現できたらいいと思ってずっと押し続けているが、再度、どのような表現がいいのか、今の皆さんの意見を踏まえながら考えたい。
・「ワンダフルウッズ」のウッズというところで皆さん引っかかっている部分があると思うが、ある意味ここで注目というか、疑問が湧いてもらえればいいのかなと思う。ただ、「〇〇ほどよい」も意味が先に来ると、そのインパクトが強くて、「ほどよい」はあまり良いイメージを与えないので、「〇〇ほどよい」、「〇〇ほどよい」、「〇〇ほどよい」ときて、その後、だから「ほどよいまち中津川」を持ってきた方がいい。「ワンダフルウッズ」と「ほどよいまち中津川」がダブルスタンダードみたいに進んでいってしまっているので、そこを整理する必要がある。ただ、なんとかこの「ワンダフルウッズ」というテーマを持ってきたというところは、これから行政が、ある意味変わろうとしている部分があるので、これを上手いこと生かしていけたら良い。

委員

・「ワンダフルウッズ」という言葉自体はキャッチーなイメージを持っているが、委員の言う通り、やはりここに引っ張られてしまう部分と、内容を理解しづらいところもあるし、ウッズとなると、やはり木というイメージも確かに持ってしまおうかなと思う。そもそもの話になるが、前回この「ワンダフルウッズ」がいいということで、その部分をこうやって表に持ってきたら、いい形になると考えたのではないかなと思うが、やはり将来都市像というのは、「ワンダフルウッズ ほどよいまち中津川」というところに引っ張られすぎてしまって、実際に揉むべき場所が今ここなのかどうか疑問に思ってきた。
・本来であれば、計画の中身をもっとしっかり揉んだ上で、そこで共通する言葉が出てきて、その中から自ずとスローガンみたいなものが浮き上がってくるのではないかなと思うので、本質がずれてしまうと、このタイトルも読み取れなくなるとか、実際中身が分かりづらいとい

うことになるので、一度フラットに考えてもらい、正しいことを、ここの「ワンダフルウッズ ほどよいまち中津川」に引っ張られない状態で一回考えて、もう少し施策とかそういったところから何か言葉が出てくるようなものにしたい方がいい。

協議事項 (2) 中津川市総合計画基本計画素案について
(事務局から説明)

(質疑)

委員

- ・基本計画の数値目標の設定の根拠、考え方を説明いただきたい。政策ごとで延べ率など設定した数値が大きく違うもの、また前期の計画の実績を踏まえると、この数字でいいのかと疑われる数値もあるので、数値をどう設定したのかを教えてください。
- ・具体的には、例えば 39 ページの政策 6 の目標値、総ごみ排出量で見ると、目標値が-75 となっているが、前期計画だと目標値が-370、減少値を見ると前回の計画から 1112 下がっている。そこから考えた時に、今回の-75 は何を根拠に、例えば他の要因があるのかなどが気になる。具体的に目標値についての説明がない、これから実施計画を作る上で重大なことだと思うので、説明していただければと思う。

事務局

- ・満足度については、基本的に政策ごとにアンケートの満足度の上昇値を目標数値として設定させていただいた。
- ・まず、現計画において平成 25 年にアンケートを取り、そちらと令和 6 年度にアンケートを取った結果を比較して、約 10 年ちょっとになるが、満足度スコアが平均で 0.53 上がっていた。過去 10 年間かけて上昇させたものを、今度は前期 5 年間で同等の数値を上げていくことを目標にして、まず現状値、令和 6 年度の平均満足度が-0.10、満足でも不満足でもないという状態が 0 という数値になるので、若干、不満足要因という数値が出ている状況であるが、こちらを過去 10 年間で上がってきた数値と同等に、前期の 5 年間で上げていきたいと考えている。
- ・目標として 0.65 上昇を目指し、0.55 にする。まずこちらをベースに全体として考えさせていただいた。市民満足度は、満足、ある程度満足、どちらでもない、あまり満足ではない、満足ではないのは 5 段階評価をしてもらっていて、満足は 10 点、ある程度満足は 5 点、どちらでもないのは 0 点、あまり満足ではないは-5 点、満足ではないは-10 点と点数をつけ、それをアンケート人数で平均して、全体の満足度を出していくという計算方法になる。
- ・今回、数値として 0.65 を上げるという部分を、前回調査だと、満足から不満足までの数値、この黄色い線の部分が人数になるが、それをそれぞれ一段階ずつ、満足でない方はあまり満足でない、あまり満足でない方はどちらでもない、どちらでもない方はある程度満足、ある程度満足の方は満足、満足の方はもうマックスなのでそのままになるが、そういった形で人数をそれぞれ約 12% ずつ移動すると 0.59、それぐらい増加するという計算になる。10 人中 1 人程度で、過去よりも満足度が上昇させる形で、それぞれの数値を目指していく。
- ・元々満足度が高い数値はそれ以上に上がりにくく、逆に元々の満足度が低いものについては、できるだけ上げていきたいというところから、元の満足度スコアが低い項目については上昇率を高く設定、元が高い項目はそこそこの上昇率で計算というような区分けをして、満足度の上昇の目標を設定させていただいた。こちらについては、項目ごとの元々の満足度を考慮しながら、目標の数値、将来数値を設定させていただいたということである。

委員

- ・提案なのだが、課題が人口減少なので、重点指標のところ、NPS という考え方を少し持ってもらいたいと思っていて、ネットプロモータースコアというが、要は知り合いや親族とかに中津川市に住むことを勧めるかという質問の仕方で、これは最近、たぶん何かしらのサービスのアンケートで満足度を調査するための一番取りやすい数字と言われているが、これを取り入れたらどうかと思っている。住民の方々が中津川市を強く勧めたいということは、

それは満足しているという話なので、それが満足度を知るには一番いい聞き方だと思う。アイデアというか、これを重点のところに加えてもらえると、課題に対して評価しやすいのではないかと考えている。

事務局

・現状はそういった調査自体はやっていないが、今後、アンケートのあり方もどのように行ったらいいかを調査し、そういったものを検討したいと思う。

委員

・これは単発で出せるもので、このスコアが何以上だと非常に満足度が高い、何以下だと非常に低いと絶対値で分かる。経年で測ることがないので、時間がかからない。比較はしなくて、その場に出るとというのがポイントなので、瞬発性のある取り方である。

事務局

・勉強させていただきたい。

委員

・私の方からも一つ質問というか、重点施策だから目標値をちょっと高めに設定するということはないのか。ここに対して重点的に取り組んでいくので、計画通りでいくとこういう目標値を立てるが、重点だからここはこう伸ばしたい、市としてのやる気みたいなことを示すということはないのか。

事務局

・重点施策の重点指標について、各施策の満足度の上昇率は 12~14%という形にしているが、重点指標については、もう少し高い数値、約 20%の上昇というのを設定している。こちらについては、重点的に取り組もうというもののなので、他の指標よりは高く設定している。

委員

・あともう一点、最後の評価のところだが、「計画推進のために」の「4-2 絶え間ない事業の改善」というところで、今回皆様に意見を伺った中でも出てきたと思うが、途中で目標が達成されたことに対して再度設定し直さないのか、そんな質問もあったと記憶している。これまでは目標設定の組み替えみたいなのはやらないというのが市のスタンスだったと思うが、そこらへんについても、もう一度検討していただけるといい。途中でも達成したなら、次の目標を立てて計画を推進していくというのは、事業の改善に向けては大事なところではないかと思うので、もう少し検討していただき、可能であれば入れてもいいのかと感じた。

事務局

・今後のこの計画の評価・検証という部分で、そういった目標を達成した後も含めて、検討していきたいと考えているので、よろしく願いしたい。

委員

・細かい話だが、政策の目標値というのもある。18 ページで確認したいが、中津川市民の健康寿命が、現在は男性が 80.8、女性が 85.0 となっているが、日本の平均だと、2022 年で男性 72.57、女性 75.45 という数字がある。例えば、2024 年の平均寿命を見ると、男性 81.09、女性 87.13 という数字があるので、この健康寿命は、ひょっとしたら平均寿命ではないかという気がしているが、どこから拾い出したのか。

事務局

・こちらの満足度以外の数値については、担当部署の方から数値を出してもらっているが、今の話を伺い、もう一度担当部署に確認したい。

委員

・やはり計画の目標数値については、後からも変更できるとした方がいい。今の段階で、すべての数値に対して検証ができているわけでもないので、一度ここでパブリックコメントを実施して、その後変えられないものだ、いろいろな環境の変化がある中で適切ではなくなる可能性がある。

委員

・観光の件でちょっと聞きたい。重点施策で盛り上げていく一端を担うと理解している。その数値目標が、実は観光の部分だけでいくと、市内観光消費額（推計）の+3,518 という目標、将来値というだけの数値になっていて、これの算出方法というのが、全てを網羅しているわけではなく、特定の宿泊だとかが多く入っている現状がある。それを本当に数字として認めるのか、要は分母が少ない。なかなか協力していただけないといったこともあるので、そういった部分の重点施策ということであれば、今の数値の情報収集先の数というのは、やはり増やしてほしい。要は高級旅館にお願いすると単純に単価が上がる。ビジネスホテルに全部お願いすると単価は下がってしまう。

・単純にそれだけの違いもあるので、そういった部分も含めて重点政策であれば、その拾い上げている数字の先というところまで、その担当部署の方に一回確認してもらって、その上で本当にこの数字で重点施策の目標値を考えられるのかというのも考えていただきたい。重点施策としては本当にクリアが難しい目標を設定してほしい、そうでなければ意味がないので、行政でこういう目標を挙げていただければ、目標に対して思い切り進んでいくつもりではいる。でないと特別に重点施策に選ばれた理由にならないし、それだけのポテンシャルがあるということは全部書かれているので、それを実行していきたい。

・50 ページの観光の部分で書かれているが、やはりリニアがかなり強い、中央新幹線のアドバンテージが得られるのは、たぶんもっと先で考えた方がいいだろう。インフラの整備に関しては、事前にやってもらえる可能性はあるが、それを活かしたと言われても、活かせるのはもっと先なので、どちらかというとインフラの整備で潤う先というのは、観光ではなくて地元産業じゃないのかなという部分がちょっと見えてくるので、リニアがダメと言っているわけではなく、リニアという項目で重点施策は存在するので、できれば観光でリニアが関係する部分の年数を考えてもらって、文言をチョイスしてほしい。

・毎回言っているが、リニアは人を運ぶ機械というか、そういった運搬の部分で考えるべきで、リニアに乗ったから来るわけではないので、リニアに乗ってでも行きたいと思ってもらえるまち、観光であるべきである。時間は短縮されるが、お金はやはりかかるので、それでも途中に山梨、飯田、相模原があるし、名古屋や東京まであるので、それでも中津川で降りたいと思ってもらえるだけの観光の魅力をどう発信するかと考えてもらった方が、リニアができれば勝手に稼げるという感覚は捨ててほしいという思いがある。あくまでもおまけというつもりで行かないと、たぶんこの 10 年の枠内でいうとリニアの効果は関係ないので、リニアを反対するわけではなく、リニアはプラスアルファだという感覚で、施策を進めてほしい。

事務局

・数値目標については、担当部署の方と相談したいと思う。また、リニアに関係する部分の表現についても、再度検討させていただきたい。

委員

・農林畜産分野で質問したいのだが、52 ページ数値目標が 3 つあるが、真ん中の子牛・肉牛の出荷頭数で目標+1 頭、2,229 頭から+1 して将来値 2,230 頭というのはおかしい数値のような気がする。これは担当部署に確認してほしいと思う。たった 1 頭を増やすだけ为目标にするのは目標ではないような気がする。それと、下の森林整備面積も、私が思っている面積よりかなり少ないので、これも担当部署に確認してほしいと思う。

事務局

・こちらも担当部署に確認するが、設定を依頼して確認していく中で、出荷頭数については、

現状として、何もしないとかかなりの減少が見込まれるというのが現実で、その中でなんとか5年後も同数に近い数を維持するという考え方である。現況ではかなり生産業者も高齢化が進んでおり、新規参入者も少ない。この中で同数を維持するのはかなり厳しいというのが担当部門からの意見である。専門分野の知見から見ていただいて、まだ上昇させることができるということがあれば、ぜひ意見をいただきたい。

委員

・この満足度調査は、前回5年前のものでトレンドしていくということか。将来値は今後5年間、全体的な将来値が将来もマイナスのままというのが、地域医療への満足度と商業の振興への満足度の2つあるが、少なくとも目標としては、そういう遅れている部分を5年のうちに、プラスマイナス0の部分まで持っていこうというような目標にするべきではないのか。このマイナスの将来値をそのままにするのは、計画としてはどうなのか。

事務局

・将来値については、5年後に目指す数値を書かせていただいている。そして、将来値でもマイナスの満足度はいかなものかということだが、そういった点についても事務局で議論したが、目標として定めるものなので、達成不可能と言ったらいけないのかもしれないが、そういった現実味が薄いものを追求するよりも、やはりこうしっかりと事業を行っていく中で、そういったものを上げていけるように、書き方として、現状値と将来値という書き方ではなく、地域医療の満足度であれば、将来値については-0.57になっているが、目標としては+0.79上げていく、それを目標というふうに捉えて、ここで上げていくという形で設定させていただいたものになる。

・今回は目標として、こういったマイナスのものについては、より上昇の割合を大きくしっかりと上げていきたいということになる。そして先ほどの話で、こちらは前期5年間の数値になるが、これを達成したら、次はまたより上げていくという形で、時間がかかるかもしれないが、将来的にプラスの方に持っていくというようなことになるので、ご理解いただきたいと思う。

委員

・前期の目標値なので、少なくとも目標を積み上げるところは、もともと回答がどちらでもないから、いいか悪いか、あるいはもう少し悪いか、そういう評価の中でそれを真ん中、普通に持っていこうという考え方である。だから、これでいけばワンランクずつアップ、プラス悪いものをなくすという発想も意見の取り方、単なる傾向の取り方だから、悪い部分についてはまああの位置まで持っていくという計画を僕は作るべきではない、逆にそういうふうに目標、弱いところを考慮する目標を持つべきではないと、計画としては思う。

委員

・先ほどの畜産のところで、飛騨牛をメインに考えられている取り組みの内容とを感じるが、やはり中津川のブランド力向上のためには飛騨牛だけでいいのかということも考えた方がいい。栗旨豚なども中津川で出てきているし、恵那鶏も中津川では有名なものになってきているなかで、今から飛騨牛のみに力を入れてしまうというのも考え直した方がよい。まだこれから先中津川のブランドとして何が出てくるかわからない状態だと思うので、考慮した方がよい。

事務局

・こちらも担当部署と話して、こういった設定が良いか、適切かということを含めて、検討していきたい。

事務局

- ・中津川市総合計画審議会の方針の作成について、提案させていただく。本日、資料 2、資料 3 として示させていただいた中津川市総合計画基本構想と基本計画の素案について、今、様々な意見をいただき、当然修正すべきところもあるが、ひとまず、これからまたお持ち帰りいただく意見書等もあるので、こちらの現在示させていただいた内容で9月中にパブリックコメントし、様々、市民の方から意見をいただきたい。
 - ・その後、意見書を踏まえていただいた委員の皆様からの意見とパブリックコメントによって寄せられた市民の皆様の意見、こちらを踏まえて、市において、総合計画の基本構想と基本計画の案、素案から今度は案としてまとめさせていただき、そちらをもとに、一度、会長、副会長と相談させていただいたうえで、審議会での答申の案を作成させていただきたい。
 - ・答申の案については 10 月上旬を目途に、委員の皆様は書面にて、この内容でいかがかという依頼をさせていただき、前回相談させていただいた 10 月 23 日の第 6 回総合計画審議会において、正式にそちらの方で議論いただき、答申書として決議をいただいて、市長へ答申をいただきたいと考えている。
- 以上のような方法で答申を作成することについて提案をさせていただく。

会長

- ・ただいま事務局より提案のあった方法で答申を作成することについて、その方法でよろしいか。何か質疑、質問等あればどうぞ。よろしければ、この方法で作成することについて、認めていただける方は拍手でお答えをお願いしたい。

～拍手～

- ・答申の作成については、事務局の提案の通り作成することと決した。また、事務局において答申の案を作成したら、委員の皆様は連絡を差し上げる。

<その他>

- ・次回の第 6 回総合計画審議会は、10 月 23 日（木）16 時～開催

<閉会>

- ・令和 7 年度第 5 回中津川市総合計画審議会を閉会

以上